

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2018-126319

(P2018-126319A)

(43) 公開日 平成30年8月16日(2018.8.16)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
A 4 7 B 9/00 (2006.01)	A 4 7 B 9/00	Z 3 B 0 5 3
A 4 7 B 13/00 (2006.01)	A 4 7 B 13/00	Z 3 B 0 6 9
A 4 7 B 13/02 (2006.01)	A 4 7 B 13/02	
A 4 7 B 91/00 (2006.01)	A 4 7 B 91/00	Z

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号	特願2017-21418 (P2017-21418)	(71) 出願人	000000561
(22) 出願日	平成29年2月8日 (2017.2.8)		株式会社オカムラ
			神奈川県横浜市西区北幸二丁目7番18号
		(74) 代理人	100064908
			弁理士 志賀 正武
		(74) 代理人	100094400
			弁理士 鈴木 三義
		(74) 代理人	100149548
			弁理士 松沼 泰史
		(72) 発明者	ハーフォード アレキザンダー
			神奈川県横浜市西区北幸二丁目7番18号
			株式会社岡村製作所内
		(72) 発明者	野崎 治
			大阪府東大阪市稲田上町2-8-63 株
			式会社関西岡村製作所内

最終頁に続く

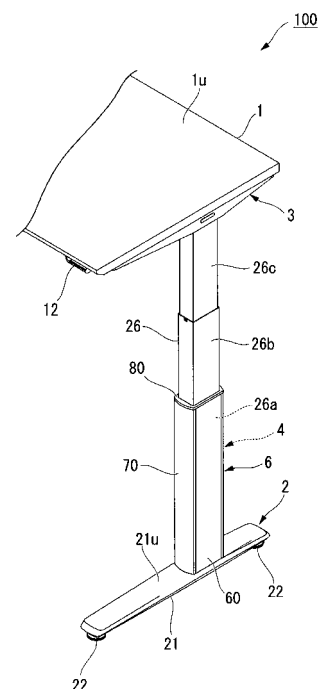
(54) 【発明の名称】 天板昇降式什器

(57) 【要約】

【課題】脚体の外周を、所望の材質、色調、表面処理が施された部材等に変更可能な天板昇降式什器を提供するものである。

【解決手段】天板昇降式什器 100 は、上面に作業面 1u を有する天板 1 と、天板 1 を支持する上部支持体 26c、及び上部支持体 26c を昇降可能に支持する下部支持体 26a を有する脚体 2 と、下部支持体 26a に支持され、下部支持体 26a の外周に沿って配置されたカバー支持体 4 と、カバー支持体 4 に着脱可能に設けられ、カバー支持体 4 の外周のうち複数の面に配置されたカバー部材 6 と、を備えることを特徴とする。

【選択図】 図 2



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

上面に作業面を有する天板と、
該天板を支持する上部支持体、及び該上部支持体を昇降可能に支持する下部支持体を有する脚体と、

前記下部支持体に支持され、該下部支持体の外周に沿って配置されたカバー支持体と、
該カバー支持体に着脱可能に設けられ、該カバー支持体の外周のうち複数の面に配置されたカバー部材と、を備えることを特徴とする天板昇降式什器。

【請求項 2】

前記カバー支持体と前記カバー部材とにより、または前記カバー部材により、前記下部支持体の外周を閉塞していることを特徴とする請求項 1 に記載の天板昇降式什器。

10

【請求項 3】

前記カバー支持体の内部には、上下方向に延びる中空部が形成され、
前記下部支持体は、該カバー支持体の前記中空部内に配置されていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の天板昇降式什器。

【請求項 4】

前記カバー支持体には、支持側係止部が形成され、
前記カバー部材には、前記支持側係止部と係止可能なカバー側係止部が形成されている請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の天板昇降式什器。

20

【請求項 5】

前記カバー部材と前記下部支持体との間には、吸音材が配置されていることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の天板昇降式什器。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、昇降式の天板を備えたデスク装置、テーブル装置、カウンター装置等の天板昇降式什器に関する。

【背景技術】**【0002】**

一般的に、オフィスや病院等の公共施設等の執務空間においては、執務者に作業エリアを提供するためにデスク、テーブル、作業台、実験台等の天板付什器が配設されている。天板付什器の天板の高さについて、執務者の体格や性別、嗜好により作業のし易い高さが個々により大きく異なる。天板の高さが一定の場合にはこのような実情に対応できないため、天板の高さを上下方向に変更可能とした天板昇降式什器が使用されている。こうした天板昇降式什器を用いることにより、執務者の要望に応じた天板の高さの作業エリアを提供することができ、作業効率を向上するとともに、執務者の体への負荷を低減することができる。

30

【0003】

天板の高さを上下方向に変更するための手段としては、ガスピリングを用いる方法、ギアを用いる方法、パネを用いる方法等が提案されている（例えば、下記特許文献 1 から 3 参照）。これらの方法によれば、比較的簡易的な構造とし、コストを安く抑えることができる。また、執務者の操作性を良好にするために電動式の昇降機構ユニットが内蔵された脚体が採用されたものが広く知られている（例えば、下記特許文献 4 , 5 参照）。この脚体によれば、執務者が容易な操作で天板の高さを変更できる。

40

【先行技術文献】**【特許文献】****【0004】**

【特許文献 1】特許第 3 3 7 1 9 5 9 号公報

【特許文献 2】特許第 3 3 9 1 2 8 5 号公報

【特許文献 3】実用新案登録第 3 1 6 4 7 3 9 号公報

50

【特許文献4】特開2014-113505号公報

【特許文献5】特許第5718503号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

しかしながら、上記のような什器の脚体は、内部にガススプリングや、ギアや、電動式の昇降機構ユニット等が内蔵された専用部品であることが多く、脚体自体の材質、外観の色調、表面処理等を、需要者の好みに応じて適宜変更したり、オプション部材を取り付けるための加工を施したりすることが難しいという問題点がある。

【0006】

本発明は、上記事情に鑑みてなされたものであり、脚体の外周を、所望の材質、色調、表面処理が施された部材等に変更可能な天板昇降式什器を提供するものである。

【課題を解決するための手段】

【0007】

上記目的を達成するために、本発明は以下の手段を採用している。

すなわち、本発明に係る天板昇降式什器は、上面に作業面を有する天板と、該天板を支持する上部支持体、及び該上部支持体を昇降可能に支持する下部支持体を有する脚体と、前記下部支持体に支持され、該下部支持体の外周に沿って配置されたカバー支持体と、該カバー支持体に着脱可能に設けられ、該カバー支持体の外周のうち複数の面に配置されたカバー部材と、を備えることを特徴とする。

【0008】

このように構成された天板昇降式什器では、カバー支持体は、下部支持体に支持され、下部支持体の外周に沿って配置されている。カバー部材は、カバー支持体に着脱可能に設けられている。よって、カバー支持体の外周のうち複数の面に配置されるカバー部材を変更して、脚体の外周を需要者の好み等に応じて対応させることができる。

【0009】

また、本発明に係る天板昇降式什器では、前記カバー支持体と前記カバー部材とにより、または前記カバー部材により、前記下部支持体の外周を閉塞していることが好ましい。

【0010】

このように構成された天板昇降式什器では、カバー支持体とカバー部材とにより、またはカバー部材により、下部支持体の外周が閉塞されるため、下部支持体が露出することなく什器の脚体周りの体裁を良好とすることができる。

【0011】

また、本発明に係る天板昇降式什器は、前記カバー支持体の内部には、上下方向に延びる中空部が形成され、前記下部支持体は、該カバー支持体の前記中空部内に配置されていてもよい。

【0012】

このように構成された天板昇降式什器では、カバー支持体の内部に上下方向に延びる中空部内に下部支持体を挿入して什器を組み立てることができるため、組立作業性がよい。

【0013】

また、本発明に係る天板昇降式什器は、前記カバー支持体には、支持側係止部が形成され、前記カバー部材には、前記支持側係止部と係止可能なカバー側係止部が形成されていてもよい。

【0014】

このように構成された天板昇降式什器では、カバー部材に形成されたカバー側係止部を、カバー支持体に形成された支持側係止部に係止させることで、カバー部材がカバー支持体に取り付けられる。よって、カバー部材を容易に取り付けることができるとともに、カバー部材が体裁よく設けられる。

【0015】

また、本発明に係る天板昇降式什器は、前記カバー部材と前記下部支持体との間には、

10

20

30

40

50

吸音材が配置されていてもよい。

【 0 0 1 6 】

このように構成された天板昇降式什器では、カバー部材と下部支持体との間には吸音材が配置されているため、上部支持体の昇降動作時の動作音や振動等の外部への伝達が抑制される。

【 発明の効果 】

【 0 0 1 7 】

本発明に係る天板昇降式什器によれば、脚体の外周を、所望の材質、色調、表面処理が施された部材等に変更することができる。

【 図面の簡単な説明 】

10

【 0 0 1 8 】

【 図 1 】 本発明の一実施形態に係る天板昇降式什器の斜視図である。

【 図 2 】 本発明の一実施形態に係る天板昇降式什器の脚体部分の拡大斜視図である。

【 図 3 】 本発明の一実施形態に係る天板昇降式什器の構成を示す図であり、脚体の分解斜視図である。

【 図 4 】 本発明の一実施形態に係る天板昇降式什器の構成を示す図であり、脚体とカバー支持体及びカバー部材とを分解した分解斜視図である。

【 図 5 】 本発明の一実施形態に係る天板昇降式什器の構成を示す図であり、脚体と連結部材とを分解した分解斜視図である。

【 図 6 】 本発明の一実施形態に係る天板昇降式什器の構成を示す図であり、カバー支持体とカバー部材とを分解した分解斜視図である。

20

【 図 7 】 本発明の一実施形態に係る天板昇降式什器の構成を示す図であり、脚体部分の水平断面図である。

【 図 8 】 本発明の一実施形態の変形例に係る天板昇降式什器の構成を示す図であり、脚体部分の水平断面図である。

【 図 9 】 本発明の一実施形態の変形例に係る天板昇降式什器の構成を示す図であり、脚体部分の上部を切断して示した斜視図である。

【 発明を実施するための形態 】

【 0 0 1 9 】

以下、本発明の天板昇降式什器の実施形態の一例としてデスク装置について、図面を参照して説明する。

30

図 1 は、本発明の一実施形態に係る天板昇降式什器の斜視図である。

図 1 に示すように、デスク装置 100 は、天板 1 と、床面 F 上に互いに離間して設置され天板 1 を支持する一对の支持脚 2 と、一对の支持脚 2 どうしを連結する連結部材 3 と、各支持脚 2 の外周を覆うように設けられたカバー支持枠（カバー支持体）4 及びカバー体（カバー部材）6 と、を備えている。

デスク装置 100 は、例えばオフィス等の施設の執務室や会議室等に設置されている。

以下の説明において、一对の支持脚 2 どうしを結ぶ方向を左右方向と称し、天板 1 の表裏面が向く方向を上下方向と称し、左右方向及び上下方向と直交する方向を前後方向と称する。天板 1 において、後述する幕板 11 が設けられる側を後方を称し、反対側を前方と称する。

40

【 0 0 2 0 】

天板 1 は、上面に作業面 1u を有している。本実施形態では、天板 1 は、略矩形状をなし、前後方向よりも左右方向の方が長く形成されている。天板 1 の後端部には、天板 1 の下面から下方に延びるように幕板 11 が設けられている。

【 0 0 2 1 】

各支持脚 2 は、床面 F に沿って設けられるベース部材 21 と、ベース部材 21 の上部に設けられて上下方向に延び天板 1 を支持する脚部材（脚体）26 と、を有している。

【 0 0 2 2 】

ベース部材 21 は、前後方向に沿って延びている。ベース部材 21 の下面には、床面 F

50

に設置されるアジャスタ 2 2 が、前後方向に離間して複数設けられている。各アジャスタ 2 2 は、ベース部材 2 1 から下方への突出寸法が調整可能である。これにより、ベース部材 2 1 の高さおよび水平レベルを調整できるようになっている。

【0023】

図 2 は、デスク装置 1 0 0 の一方の支持脚 2 周辺の拡大斜視図である。

図 2 に示すように、脚部材 2 6 は、ベース部材 2 1 の上面 2 1 u において、ベース部材 2 1 の前後方向の中央よりも後方よりに配置されている。

【0024】

図 3 は、ベース部材 2 1 と脚部材 2 6 とを分解した状態を下方から見た分解斜視図である。

図 2 及び図 3 に示すように、脚部材 2 6 は、ベース部材 2 1 に固定された下部支持体 2 6 a と、下部支持体 2 6 a 内から上下方向に昇降可能に収容された中間支持体 2 6 b と、中間支持体 2 6 b 内から上下方向に昇降可能に収容された上部支持体 2 6 c と、を有している。本実施形態では、下部支持体 2 6 a は、ベース部材 2 1 の下方から螺子 2 1 z で固定されている。

【0025】

これら下部支持体 2 6 a、中間支持体 2 6 b 及び上部支持体 2 6 c は、例えば四角形筒状に形成されているが、円筒状等でもよく、水平断面形状は任意の筒状でよい。下部支持体 2 6 a に対して中間支持体 2 6 b 及び上部支持体 2 6 c がそれぞれ上下方向に出没することで脚部材 2 6 の上下方向長さを調整することができる。

【0026】

なお、本実施形態では、下部支持体 2 6 a に対して中間支持体 2 6 b と上部支持体 2 6 c とを上下方向に出没可能に配設したが、天板 1 を上下動させるには少なくとも下部支持体 2 6 a と上部支持体 2 6 c とを備えていればよい。または、中間支持体 2 6 b を複数設けて互いに出没可能としてもよい。

【0027】

図 4 は、支持脚 2 とカバー体 6 とを分解した状態を下方から見た分解斜視図である。図 5 は、支持脚 2 と連結部材 3 とを分解した状態を上方から見た分解斜視図である。

図 5 に示すように、上部支持体 2 6 c の上端部には、連結部材 3 が固定されている。連結部材 3 は、前後方向に延び、各支持脚 2 に固定される支持フレーム 3 1 と、左右方向に延び、支持フレーム 3 1 どうしを連結する連結フレーム 3 2 と、を有している。

【0028】

連結フレーム 3 2 の両端部は、それぞれ支持フレーム 3 1 に連結されている。本実施形態では、連結フレーム 3 2 は、支持フレーム 3 1 に不図示の螺子や溶接等により連結されている。

【0029】

支持フレーム 3 1 及び連結フレーム 3 2 は、上部支持体 2 6 c に固定されている。支持フレーム 3 1 及び連結フレーム 3 2 は、不図示の螺子等で天板 1 (図 2 参照) の下面に固定されている。本実施形態では、支持フレーム 3 1 及び連結フレーム 3 2 は、上部支持体 2 6 c の上端部に螺子 3 1 z で固定されている。

【0030】

図 6 は、カバー支持枠 4 とカバー体 6 とを分解した分解斜視図である。図 7 は、脚部材 2 6 部分の水平断面図である。

図 6 及び図 7 に示すように、カバー支持枠 4 は、脚部材 2 6 の下部支持体 2 6 a の外周に沿って配置されている。本実施形態では、カバー支持枠 4 は、下部支持体 2 6 a の前面、左右両側面及び後面に沿って、下部支持体 2 6 a の外周全域にわたって配置されている。

【0031】

カバー支持枠 4 は、一对の側面支持部 4 0 と、一对の前後支持部 5 0 と、を有している。

10

20

30

40

50

【0032】

各側面支持部40は、脚部材26の左右側面それぞれに沿って配置されている。各前後支持部50は、脚部材26の前後面それぞれに沿って配置されている。

【0033】

側面支持部40と前後支持部50とは、一体として構成されている。本実施形態では、側面支持部40と前後支持部50とは、溶接により連結されている。側面支持部40及び前後支持部50は、脚部材26の下部支持体26aの上下方向略全長と同じ長さを有している。

【0034】

側面支持部40は、水平断面視略コ字状をなしている。側面支持部40は、側壁部41と、側壁部41の両端からそれぞれ折り曲げて構成された折曲壁部42と、を有している。側壁部41及び折曲壁部42により、水平断面視略コ字状をなしている。

【0035】

側壁部41は、下部支持体26aの左右側面に当接して配置されている。折曲壁部42は、側壁部41の両端部からそれぞれ折曲され、下部支持体26aの前後面それぞれに当接して配置されている。

【0036】

前後支持部50は、前後壁部51と、係止壁部（支持側係止部）52と、保持枠部53と、取付壁部54と、を有している。

【0037】

前後壁部51は、一对の側面支持部40の各折曲壁部42に跨るように、折曲壁部42の外面に沿って配置されている。係止壁部52は、前後壁部51の両端部からそれぞれ折曲され、側面支持部40の側壁部41と左右方向に離間して配置されている。

【0038】

保持枠部53は、平面視コ字状に形成されている。取付壁部54は、保持枠部53の両端部から折曲され、前後壁部51に固定されている。

【0039】

図4に示すように、保持枠部53の下端部には、螺子座56が設けられている。ベース部材21の下方から、螺子座56に螺子21yがねじ込まれることで、カバー支持枠4はベース部材21に固定されている。

【0040】

図6及び図7に示すように、カバー支持枠4は、平面視略口字状に形成されている。換言すると、カバー支持枠4の内部には、上下方向に延びる中空部4sが形成されている。脚部材26は、カバー支持枠4の中空部4s内に配置されている。中空部4sの大きさは、下部支持体26aの大きさと略同一あるいはわずかに大きい。このため、下部支持体26aは、カバー支持枠4の中空部4s内で移動が規制されている。

【0041】

カバー体6は、カバー支持枠4の外周に沿って配置されている。本実施形態では、カバー体6は、カバー支持枠4の前面、左右両側面及び後面に沿って、カバー支持枠4の外周全域にわたって配置されている。

【0042】

カバー体6は、一对の側面カバー60、一对の前後カバー70と、上部カバー80と、を有している。

【0043】

各側面カバー60は、カバー支持枠4の左右側面それぞれに沿って配置されている。各前後カバー70は、カバー支持枠4の前後面及び左右側面の端部それぞれに沿って配置されている。側面カバー60及び前後カバー70は、カバー支持枠4の上下方向略全長と同じ長さを有している。

【0044】

側面カバー60は、側面カバー壁部61と、第一折り返し壁部62と、第二折り返し壁

10

20

30

40

50

部 6 3 と、を有している。

【 0 0 4 5 】

側面カバー壁部 6 1 は、カバー支持枠 4 の左右側面と隙間を有しつつ、左右側面に沿って配置されている。第一折り返し壁部 6 2 は、側面カバー壁部 6 1 の両端部からそれぞれ折り返されている。第二折り返し壁部 6 3 は、各第一折り返し壁部 6 2 の端部から折り返されている。第二折り返し壁部 6 3 と第一折り返し壁部 6 2 との間には、左右方向に隙間が形成されている。

【 0 0 4 6 】

前後カバー 7 0 は、前後カバー壁部 7 1 と、端壁部（カバー側係止部）7 2 と、折曲壁部 7 3 と、挿入壁部 7 4 と、を有している。

10

【 0 0 4 7 】

前後カバー壁部 7 1 は、カバー支持枠 4 の前後面に沿って配置されている。本実施形態では、前後カバー壁部 7 1 は、左右方向の中央に向かうにしたがってカバー支持枠 4 から離間するように湾曲形成されている。端壁部 7 2 は、前後カバー壁部 7 1 の両端部からそれぞれ折曲され、前後方向に沿って配置されている。折曲壁部 7 3 は、端壁部 7 2 の端部からカバー支持枠 4 側に折曲されている。挿入壁部 7 4 は、折曲壁部 7 3 の端部から折曲され、前後方向に沿って配置されている。

【 0 0 4 8 】

前後カバー 7 0 の端壁部 7 2 は、カバー支持枠 4 の係止壁部 5 2 に当接配置されている。前後カバー 7 0 の左右両端に設けられた端壁部 7 2 内に、カバー支持枠 4 の左右方向に離間して配置された係止壁部 5 2 が嵌め込まれて、係止されている。これにより、前後カバー 7 0 は、カバー支持枠 4 に対して左右方向の相対的な移動が規制される。前後カバー 7 0 の折曲壁部 7 3 には、カバー支持枠 4 の係止壁部 5 2 の端部が当接している。これにより、前後カバー 7 0 は、カバー支持枠 4 に対して前後方向のうちカバー支持枠 4 から離間する方向の相対的な移動が規制される。

20

【 0 0 4 9 】

前後カバー 7 0 の挿入壁部 7 4 は、側面カバー 6 0 の第一折り返し壁部 6 2 と第二折り返し壁部 6 3 との間の隙間に挿入され、係止されている。

【 0 0 5 0 】

図 6 に示すように、上部カバー 8 0 は、上枠部 8 1 と、取付金具 8 2 と、を有している。上枠部 8 1 は、平面視略口字状に形成されている。上枠部 8 1 は、カバー支持枠 4 の上端部及びカバー体 6 の上端部を覆うように配置される。取付金具 8 2 は、上枠部 8 1 の前後両端部から下方に垂下している。

30

【 0 0 5 1 】

取付金具 8 2 は、カバー体 6 の保持枠部 5 3 内に配置されている。保持枠部 5 3 に形成された螺子孔から挿通された螺子（不図示）が取付金具 8 2 に螺合されることで、上部カバー 8 0 はカバー支持枠 4 に固定されている。図 5 に示すように、カバー体 6 は、下端部がベース部材 2 1 の上面 2 1 u に当接するとともに、上端部が上部カバー 8 0 の下面に当接することで、上下方向の移動が規制されている。

【 0 0 5 2 】

さらに、デスク装置 1 0 0 は、中間支持体 2 6 b 及び上部支持体 2 6 c を昇降動作させる駆動モータ（不図示）と、中間支持体 2 6 b 及び上部支持体 2 6 c の昇降動作を制御する公知の制御ユニット（不図示）と、制御ユニットに昇降動作信号を入力するための操作部 1 2（図 2 参照）と、を備えている。

40

【 0 0 5 3 】

制御ユニットは、例えば、天板 1 の下面に設けられている。この制御ユニットには、デスク装置 1 0 0 が配置される執務空間に設けられた商用電源に接続される電源ケーブル（不図示。以下同じ。）が接続されている。

【 0 0 5 4 】

操作部 1 2 は、天板 1 の前端部に設けられている。操作部 1 2 は、制御ユニットに、配

50

線ケーブル（不図示。以下同じ。）を介して電氣的に接続されている。

【 0 0 5 5 】

利用者が操作部 1 2 に対して所定の操作を入力すると、操作部 1 2 から配線ケーブルを介し、制御ユニットに操作信号が送信される。制御ユニットは、操作部 1 2 から操作信号を受信すると、受信した信号に基づいて脚部材 2 6 に昇降動作を実行させる指令信号を出力する。各脚部材 2 6 は、指令信号を受信すると、その指令信号に応じて、各脚部材 2 6 に内蔵された伸縮駆動装置（不図示）によって伸縮駆動され、これにより天板 1 の高さの調整がなされる。

【 0 0 5 6 】

次に、上記のカバー支持枠 4 及びカバー体 6 を支持脚 2 に装着する方法について説明する。

10

図 4 及び図 7 に示すように、予めカバー支持枠 4 とカバー体 6 とを組み立てておく。

具体的には、前後カバー 7 0 の左右両側に設けられた端壁部 7 2 が、カバー支持枠 4 の係止壁部 5 2 を外嵌するように、平面視口字状に形成されたカバー支持枠 4 に対して、前後カバー 7 0 を上方または下方からスライド移動させる。

【 0 0 5 7 】

次に、カバー支持枠 4 の側壁部 4 1 と前後カバー 7 0 の挿入壁部 7 4 との間に、側面カバー 6 0 の第二折り返し壁部 6 3 が嵌め込まれるように、側面カバー 6 0 を上方または下方からスライド移動させる。

【 0 0 5 8 】

20

次に、図 6 に示す上部カバー 8 0 の取付金具 8 2 を、カバー支持枠 4 の保持枠部 5 3 内に挿入して、保持枠部 5 3 に形成された螺子孔から螺子を挿通して、取付金具 8 2 に螺合する。これにより、カバー支持枠 4 とカバー体 6 とが組み立てられ、セットされる。

【 0 0 5 9 】

次に、図 4 に示すように、支持脚 2 の上下を逆にするとともに、セットされたカバー支持枠 4 及びカバー体 6 の上下も逆にする。この際に、前後カバー 7 0 及び側面カバー 6 0 は、上部カバー 8 0 により、図 4 に示すように上下を逆にした状態で、下方への移動が規制されている。

【 0 0 6 0 】

セットされたカバー支持枠 4 及びカバー体 6 内に脚部材 2 6 が配置されるように、カバー支持枠 4 及びカバー体 6 を脚部材 2 6 の上端部側（図 4 に示す状態では下方に位置する側）からスライド移動させる。

30

【 0 0 6 1 】

カバー支持枠 4 及びカバー体 6 の下端部（図 4 に示す状態では上方に位置する側）がベース部材 2 1 の上面 2 1 u に当接するまで移動させる。ベース部材 2 1 の下方（図 4 に示す状態では上方に位置する側）から螺子 2 1 y を、カバー支持枠 4 に設けられた螺子座 5 6 に螺合する。これにより、カバー支持枠 4 及びカバー体 6 が支持脚 2 に装着される。

【 0 0 6 2 】

一方、カバー体 6 の前後カバー 7 0 及び側面カバー 6 0 を交換する際には、逆の手順により行う。具体的には、ベース部材 2 1 の下方（図 4 に示す状態では上方に位置する側）から螺合された螺子 2 1 y を取り外し、カバー支持枠 4 及びカバー体 6 を支持脚 2 から取り外す。上部カバー 8 0 に螺合された螺子を取り外し、前後カバー 7 0 及び側面カバー 6 0 のうち、所望の部材を取り外して交換すればよい。

40

【 0 0 6 3 】

このように構成されたデスク装置 1 0 0 では、カバー支持枠 4 は、下部支持体 2 6 a に支持され、下部支持体 2 6 a の外周に沿って配置されている。カバー体 6 は、カバー支持枠 4 に着脱可能に設けられている。よって、カバー支持枠 4 の外周のうち複数の面に配置される側面カバー 6 0、前後カバー 7 0 を変更して、脚部材 2 6 の外周を需要者の好み等に応じて対応することができる。

【 0 0 6 4 】

50

また、カバー体 6 が下部支持体 2 6 a の外周を閉塞するため、下部支持体 2 6 a が露出することなくデスク装置 1 0 0 の脚部材 2 6 周りの体裁を良好とすることができる。

【 0 0 6 5 】

また、カバー支持枠 4 の上下方向に延びる中空部 4 s 内に下部支持体 2 6 a を挿入してデスク装置 1 0 0 を組み立てることができるため、組立作業性がよい。

【 0 0 6 6 】

また、カバー体 6 の左右両側に形成された端壁部 7 2 を、カバー支持枠 4 に形成された係止壁部 5 2 に係止（外嵌）させることで、カバー体 6 がカバー支持枠 4 に取り付けられる。よって、カバー体 6 を容易に取り付けることができるとともに、カバー体 6 が体裁よく設けられる。

【 0 0 6 7 】

（変形例）

上記に示す実施形態の変形例について、主に図 8 及び図 9 を用いて説明する。

以下の変形例において、前述した実施形態で用いた部材と同一の部材には同一の符号を付して、その説明を省略する。

図 8 は、本発明の一実施形態の変形例に係る天板昇降式什器の構成を示す図であり、脚体の水平断面図である。図 9 は、本発明の一実施形態の変形例に係る天板昇降式什器の構成を示す図であり、脚体部分の上部を切断して示した斜視図である。

図 8 及び図 9 に示すように、一对の前後支持部（カバー支持体）1 5 0 が、下部支持体 2 6 a の前後面に沿って配置されている。各前後支持部 1 5 0 は、下部支持体 2 6 a の前後面それぞれに沿って配置された第一前後壁部 1 5 1 と、第一前後壁部 1 5 1 の両端部から下部支持体 2 6 a から離間するように折曲された係止壁部 1 5 2 と、第一前後壁部 1 5 1 に沿って配置された第二前後壁部 1 5 3 と、第二前後壁部 1 5 3 の端部に形成された段部 1 5 4 と、を有している。

【 0 0 6 8 】

カバー体（カバー部材）6 A は、一对の側面カバー 1 6 0、一对の前後カバー 1 7 0 と、を有している。

【 0 0 6 9 】

側面カバー 1 6 0 は、下部支持体 2 6 a の左右側面と隙間を有し、前後方向に沿って配置される側面カバー壁部 1 6 1 と、側面カバー壁部 1 6 1 の両端部から左右方向の内側に折曲された折曲壁部 1 6 2 と、折曲壁部 1 6 2 の端部から下部支持体 2 6 a 側に折り返された折り返し壁部 1 6 3 と、を有している。折り返し壁部 1 6 3 は、前後支持部 1 5 0 の係止壁部 1 5 2 に係止されている。

【 0 0 7 0 】

前後カバー 1 7 0 は、湾曲形成された前後カバー壁部 1 7 1 と、前後カバー壁部 1 7 1 の両端部からそれぞれ下部支持体 2 6 a に近接するように折曲された折曲壁部 1 7 2 と、折曲壁部 1 7 2 の端部から左右方向の内側に折曲された折り返し壁部 1 7 3 と、を有している。折り返し壁部 1 7 3 は、前後支持部 1 5 0 の段部 1 5 4 に係止されている。

【 0 0 7 1 】

側面カバー 1 6 0 の側面カバー壁部 1 6 1 と、下部支持体 2 6 a の左右側面との間には、吸音材 9 が配置されている。このため、上部支持体 2 6 c の昇降動作時の動作音や振動等の外部への伝達が抑制される。

【 0 0 7 2 】

なお、上述した実施の形態において示した各構成部材の諸形状や組み合わせ等は一例であって、本発明の主旨から逸脱しない範囲において設計要求等に基づき種々変更可能である。

【 0 0 7 3 】

例えば、上記実施形態では、天板付き什器として、デスク装置 1 0 0 を例示したが、これに限らず、デスク以外の例えばカウンター、テーブル等であってもよい。

【 0 0 7 4 】

10

20

30

40

50

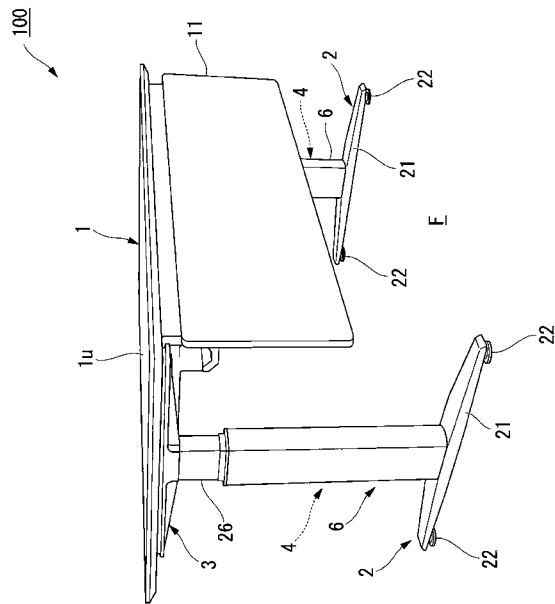
また、上記に示す実施形態では、カバー部材が下部支持体 2 6 a の外周を閉塞しているが、本発明はこれに限られない。カバー支持体とカバー部材とにより、またはカバー部材により、下部支持体 2 6 a の外周が閉塞されていることが好ましいが、カバー部材がカバー支持体の外周のうち複数の面に配置されていればよい。例えば、カバー支持体が下部支持体 2 6 a の 4 面に配置され、カバー部材がカバー支持体の 2 面または 3 面に配置されていてもよい。

【符号の説明】

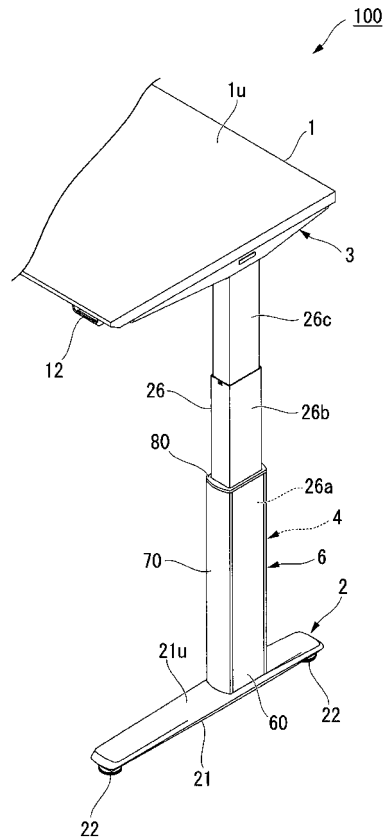
【 0 0 7 5 】

1 ... 天板	
1 u ... 作業面	10
2 ... 支持脚	
3 ... 連結部材	
4 ... カバー支持枠（カバー支持体）	
6 ... カバー体（カバー部材）	
9 ... 吸音材	
1 1 ... 幕板	
2 1 ... ベース部材	
2 6 ... 脚部材（脚体）	
2 6 a ... 下部支持体	
2 6 b ... 中間支持体	20
2 6 c ... 上部支持体	
4 0 ... 側面支持部	
4 1 ... 側壁部	
4 2 ... 折曲壁部	
5 0 ... 前後支持部	
5 1 ... 前後壁部	
5 2 ... 係止壁部（支持側係止部）	
5 3 ... 保持枠部	
5 4 ... 取付壁部	
5 6 ... 螺子座	30
6 0 ... 側面カバー	
6 1 ... 側面カバー壁部	
6 2 ... 第一折り返し壁部	
6 3 ... 第二折り返し壁部	
7 0 ... 前後カバー	
7 1 ... 前後カバー壁部	
7 2 ... 端壁部（カバー側係止部）	
7 3 ... 折曲壁部	
7 4 ... 挿入壁部	
8 0 ... 上部カバー	40
8 1 ... 上枠部	
8 2 ... 取付金具	
1 0 0 ... デスク装置	
F ... 床面	

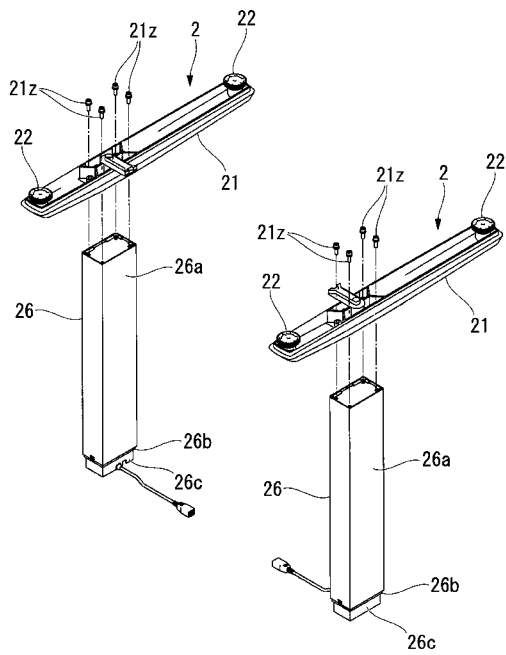
【図 1】



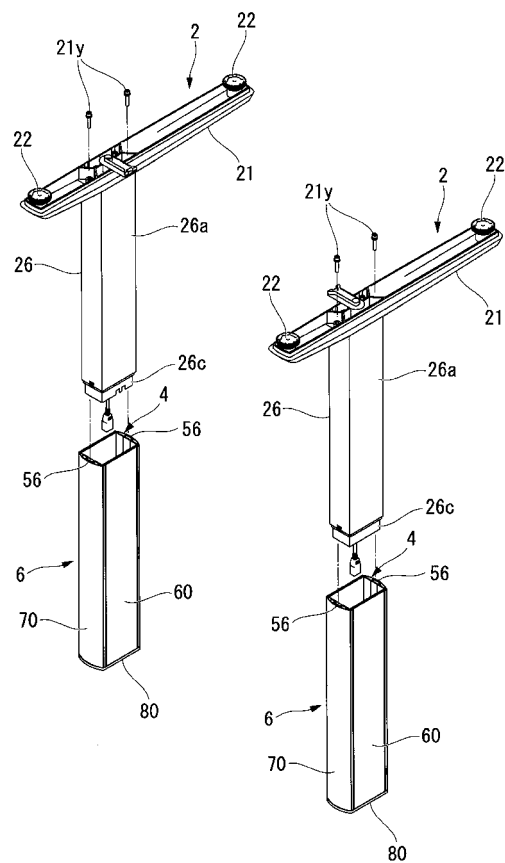
【図 2】



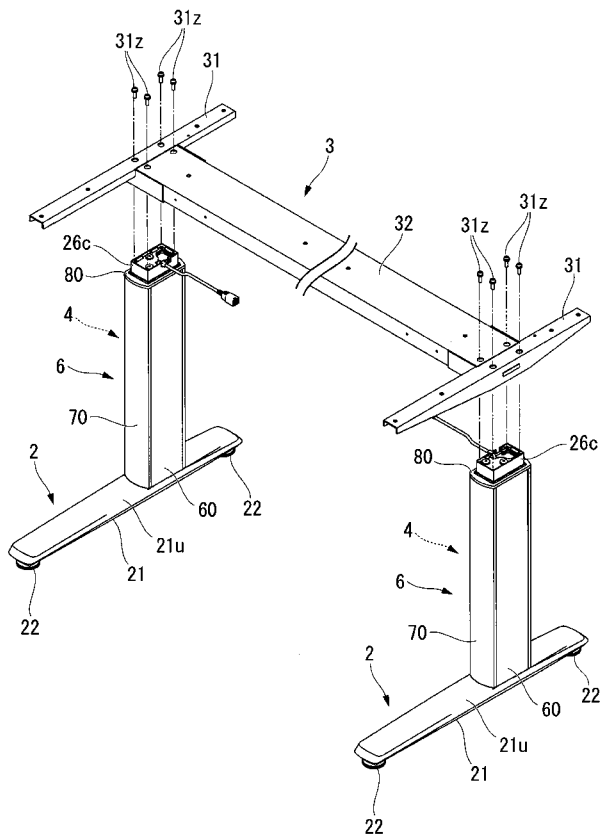
【図 3】



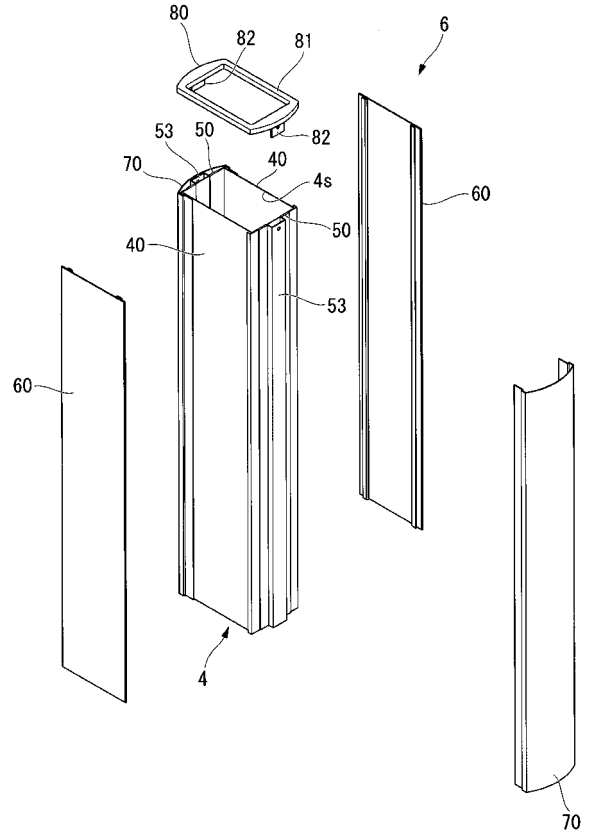
【図 4】



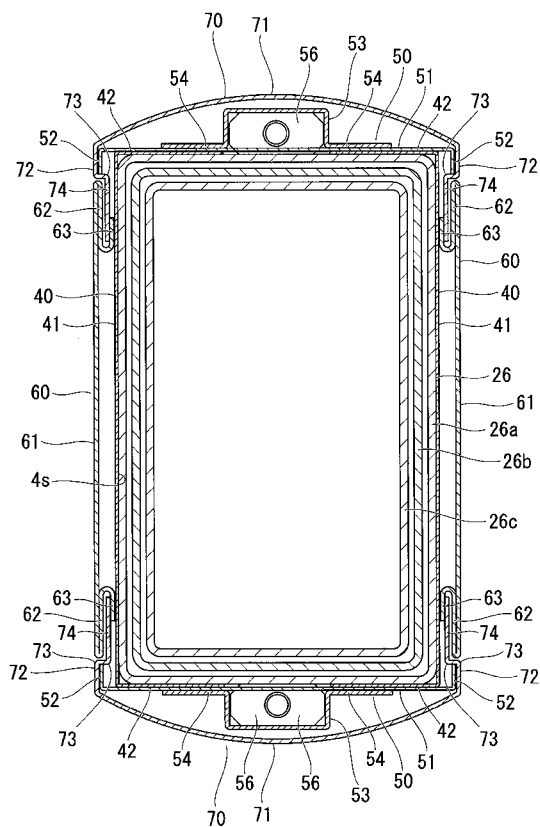
【図 5】



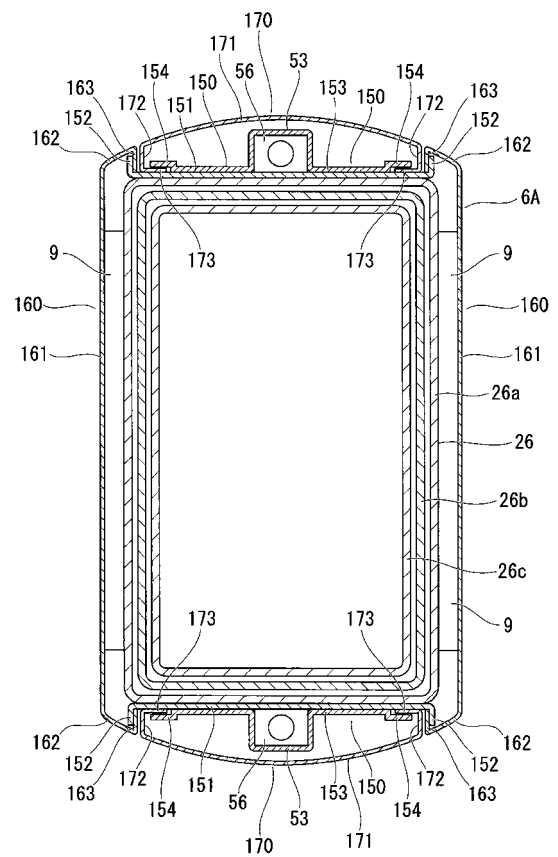
【図 6】



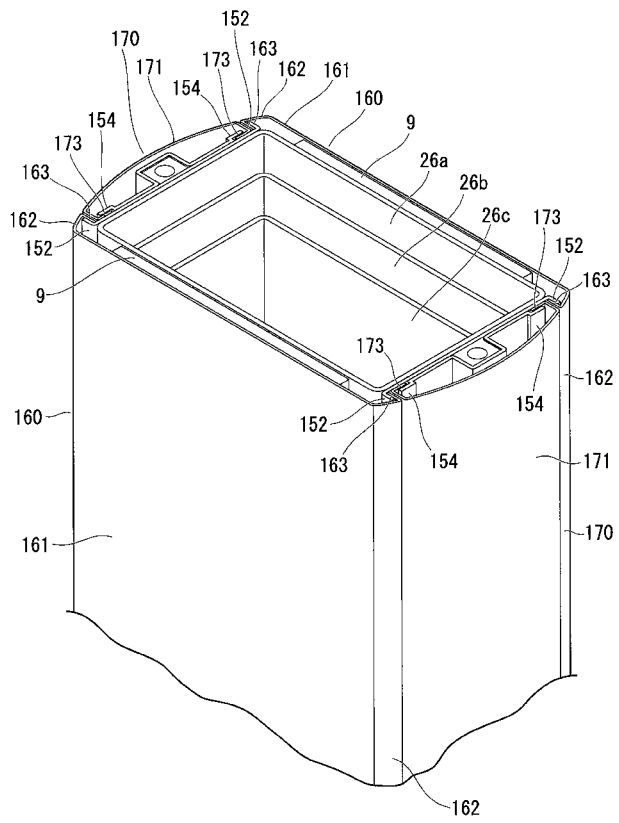
【図 7】



【図 8】



【図 9】



フロントページの続き

F ターム(参考) 3B053 NB00 NP01 NR01
3B069 DA03